

管理数量単位バーコードの活用

商材によってはカートン、ダースなど様々な集合数量での管理を行う場合があります。このとき数量単位のバーコードと商材1点あたりのバーコードを分けて管理することで出荷時に発生する**追加ピッキング数・料金を低減することが可能**です。

【下記例の前提】

下記の数量単位で個別バーコードが付与されている商材を**200ピース出荷した場合**

- ① 1ピース (JANコード)
- ② 12ピース = 1ダース (ダースバーコード※)
- ③ 144ピース = 12ダース = 1グロス (グロスバーコード※)

※貴社と弊社の間で共通認識を持つためのバーコードであるダース、グロスのバーコードはPOSレジで代金表示するために必要なJANコード登録不要です。

1. 全数ピースバーコードでの出荷
• **必要ピッキング数 = 200点**

2. ダースバーコード/グロスバーコード活用出荷
• **必要ピッキング数 = 13点**
1グロス (144ピース) × 1点
1ダース (12ピース) × 4点
1ピース × 8点



Shopify向けフルフィルメント「スピードロジ」では
倉庫・物流以外にも多様な知見を基に貴社事業の
拡大・運用をご支援致します

サービスサイト

<https://speed-logi.com/>

よくあるご質問

<https://speedlogi.zendesk.com/hc/ja>

お問い合わせ

<https://share.hsforms.com/1b3MbmVh4SCeVEAAhngofUA4e8oc>

ご利用のお申し込み

<https://share.hsforms.com/10XpaetfQ5K04f7IjtP0pg4e8oc>

\ スマホでも /

